

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

病害虫防除情報第 3 号

トビイロウンカの発生状況についてお知らせします。
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

1. 作物名 普通期水稻
2. 病害虫名 トビイロウンカ
3. 発生状況

- 1) 8 月中旬の巡回調査における発生面積率 38.1 % (平年 14.0 %)、株当たり虫数 0.05 頭 (平年 0.02 頭) はいずれも平年よりやや多く、被害の大きかった平成 17 年よりも多い。
- 2) 坪枯れの原因となる短翅型雌成虫の株当たり虫数は 0.04 頭と、平成 17, 18 年よりも多い。また、一部地域では要防除水準 (株当たり短翅型雌成虫数 0.2 頭) を超えるほ場も確認された。

巡回調査による発生状況 (8 月中旬)

年	発生面積率 (%)	株当虫数 (頭)	
			うち短翅雌
H 1 9	3 8 . 1	0 . 0 5	0 . 0 4
H 1 8	5 2 . 4	0 . 0 6	0 . 0 2
H 1 7	2 8 . 6	0 . 0 4	0 . 0 0
平 年	1 4 . 0	0 . 0 2	-

4. 防除対策

平成 17 年の本虫の大発生は 8 ~ 9 月の高温による影響が大きいと考察されている。気象予報によると、向こう 1 ヶ月の気温は平年並みか高い (鹿児島地方気象台 8 月 24 日発表) と予想されており、本虫の増殖に好適な条件が続くと思われるので、十分な警戒が必要である。

- 1) 地域やほ場によって生育ステージや発生量にばらつきがあるので、ほ場の発生状況を的確に把握し、防除を徹底する。(8 月下旬の要防除水準 : 株当たり 1 頭 (成幼虫))
- 2) 本虫は株元に生息するので、薬剤散布は株元に十分到達するように散布する。
- 3) 防除薬剤等その他の詳細については、宮崎県病害虫防除・肥料検査センター、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。
- 4) ポジティブリスト制度の施行に伴い、農薬の使用については今まで以上に厳重な注意を払い、農薬使用基準を遵守し危害防止に努める。

連絡先

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター

加治佐光洋 櫛間義幸

Tel : 0 9 8 5 - 7 3 - 6 6 7 0

Fax : 0 9 8 5 - 7 3 - 7 4 9 9

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp